

421) 健康診断

我が社には誕生日健康診断という制度があります。40 歳以上の社員は誕生日にバリウムやレントゲンや血糖値などを測定して、専門の先生の間診を受けることになっているのであります。指定された日に都合で受診できない社員は、他の日に受診するのですが、パスすることはできないシステムです。必ずお呼び出しがかかってくるからであります。小生は今年を受診日は折悪しく仕事が重なって受診できなかったために週が明けて月曜日に、朝食を抜いて、検診に臨んだのであります。いつもの例だと少し早めに行くと、11 時頃にはすんでしまうので、この日もいつもより早く出社して、健康診断センターなる場所に向くと、早速、囚人服のような検診服に着替えたのであります。ところがこの囚人服はどちらが前でどちらが後ろかよく解からない。オシッコをするときの穴がついていないのであります。仕方なく担当社員が出社してくるのを待つことにいたしました。ところが不思議なことに、いくら経っても誰も来ない。事務所には若い女性が一人来たものの何か事務を執っている。おかしいなと思いつつも、この事務員に「このパンツはどっちが前ですか？」と聞いてみると、その事務員は私の存在に気づいてなかったと見えて、びっくりしたような顔つきで、「それでいいのですけれども、今日の検診はありませんよ。今週は水、木、金曜日の 3 日間だけです。」と無愛想に言う出はないか。今畜生、コチトラは朝食を食わずに来て、しかもここで洋服を着替えて 15 分も待ってたんだぞ。どうしてくれるってんだよ～。叫んだところで、時はかえらず。検診が始まるわけでもナシ。再び囚人服を脱いで、ネクタイを締め直して、デスクへ戻ったのであります。かくて本日の収穫は囚人服の前と後ろが解かったことのみでありました。